

しんきん景況レポート(第61回)

— 山口県内中小企業の動向(令和2年1~3月期) —

【特別調査：外国人・海外情勢と中小企業】

《景況天気図》 先行き「大雨」の予想

業況判断 D. I.	R1/ 4~6月	7~9月	10~12月	R2/ 1~3月	4~6月 (予想)
山口県	Δ18.6	Δ24.1	Δ17.2	Δ26.5	Δ39.1
西部地域 下関、宇部・山陽小野田	Δ19.7	Δ21.3	Δ25.0	Δ32.9	Δ42.7
中部地域 山口、防府	Δ17.1	Δ36.8	Δ22.0	Δ19.5	Δ48.8
北部地域 萩・長門	Δ34.8	Δ43.5	Δ17.4	Δ56.5	Δ59.1
東部地域 周南、柳井、岩国	Δ12.5	Δ12.5	Δ 4.7	Δ12.5	Δ21.9
景況天気図の D. I. の目安	Δ30.0 未満 	Δ30.0~ Δ10.0未満 	Δ10.0~ +10.0未満 	+10.0~ +30.0未満 	+30.0 以上

[概況]

山口県内中小企業の令和2年1~3月期(今期)の業況判断 D. I. は、10~12月期(前期)のΔ17.2から9.3ポイント悪化してΔ26.5となった。

企業経営者からみた県内景気は、新型コロナウイルス感染拡大の影響から、観光客の大幅な減少、外出の自粛要請などにより、サービス業を中心に、多くの業種で悪化した。

令和2年4~6月期(来期)については、感染拡大の長期化を懸念して、Δ39.1と大幅に悪化する見込みとなっている。

業種別では、製造業は8.5ポイントの悪化、非製造業も9.6ポイントの悪化となった。

製造業 前期：Δ27.7 → 今期：Δ36.2

非製造業 前期：Δ14.0 → 今期：Δ23.6

今期の状態を景況天気図に置き換えると「小雨」となっているが、先行きは「大雨」となる見込み。

・このレポートは、山口県内の3信用金庫(萩山口、東山口、西中国)が、中小企業を対象に行った景気の現状と見通しに関する調査結果を取りまとめたものです。

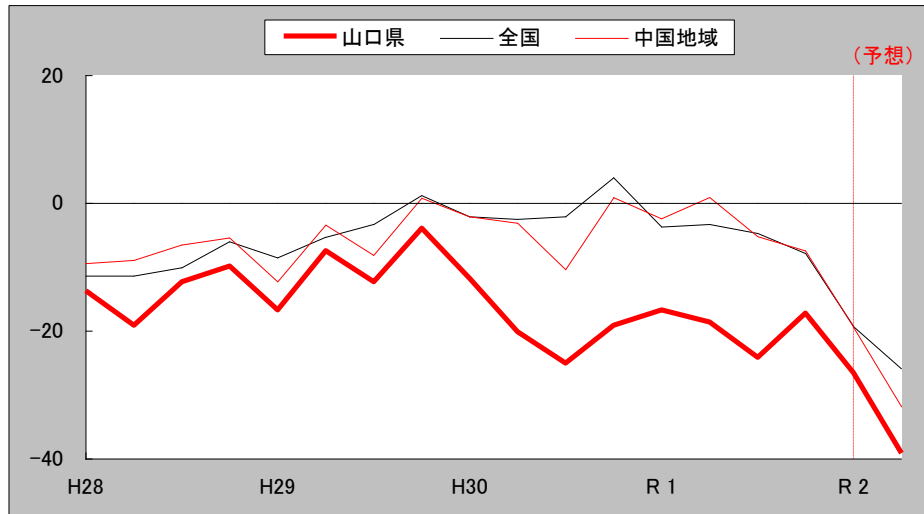
(調査実施対象企業は204社<うち製造業47社、非製造業157社>)

・D. I. は、Diffusion Index の略で、「良い(または増加、上昇、楽)」と回答があった企業数の割合(%)から「悪い(または減少、下降、苦しい)」と回答があった企業数の割合(%)を差し引いた値。

・照会先：西中国信用金庫調査室 〒750-0016 下関市細江町一丁目1番8号 TEL. 083-223-3632 萩-ム-ジ <http://www.nishichugoku.co.jp/>

1. 業況判断 D. I.

(1) 山口県全域 (全業種)



山口県				
1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	

H28	-13.7	-19.1	-12.3	-9.8
H29	-16.7	-7.4	-12.3	-3.9
H30	-11.8	-20.1	-25.0	-19.1
R 1	-16.7	-18.6	-24.1	-17.2
R 2	-26.5	-39.1		

(予想)

全国				
1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	

H28	-11.4	-11.4	-10.1	-6.0
H29	-8.5	-5.3	-3.3	1.2
H30	-2.1	-2.5	-2.1	4.0
R 1	-3.7	-3.3	-4.7	-7.8
R 2	-19.3	-25.9		

(予想)

中国地域				
1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	

H28	-9.4	-8.9	-6.5	-5.4
H29	-12.3	-3.4	-8.1	0.8
H30	-2.1	-3.1	-10.4	0.9
R 1	-2.4	0.9	-5.2	-7.4
R 2	-19.4	-31.9		

(予想)

- 山口県内中小企業の業況判断 D. I. (全業種) は、今期は△26.5 と、前期の△17.2 から 9.3 ポイントの悪化となり、来期は△39.1 と、さらに悪化することが予想されている。
- 業種別にみると、製造業は、輸送用機械、一般機械を中心に 8.5 ポイントの悪化となり、非製造業も、建設業、サービス業を中心に 9.6 ポイントの悪化となった。
- 来期は、製造業、非製造業とも悪化が見込まれている。

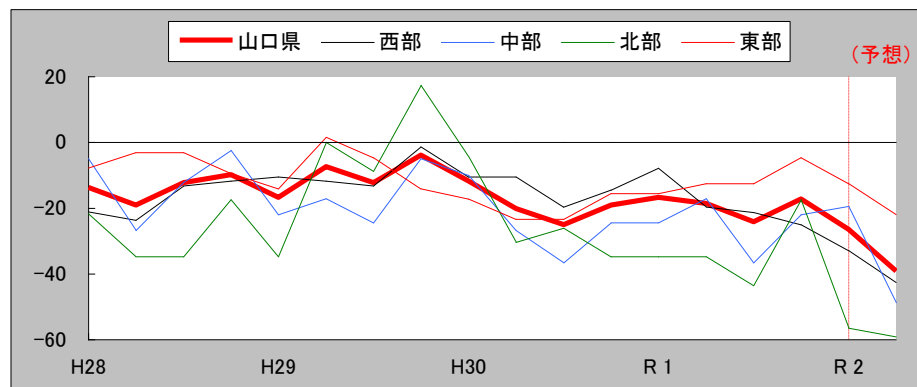
	R1/ 4~6月	7~9月	10~12月	R2/ 1~3月	4~6月 (予想)
製造業	△ 23.4	△ 19.1	△ 27.7	△ 36.2	△ 44.4
非製造業	△ 17.2	△ 25.6	△ 14.0	△ 23.6	△ 37.6
建設業	4.4	0.0	8.9	△ 6.7	△ 20.0
卸売業	△ 20.8	△ 39.1	△ 25.0	△ 32.0	△ 48.0
小売業	△ 40.0	△ 41.7	△ 25.7	△ 21.2	△ 51.5
サービス業	△ 42.1	△ 39.5	△ 26.3	△ 38.5	△ 46.2
不動産業	40.0	△ 6.7	△ 6.7	△ 26.7	△ 20.0

販売価格判断 D. I. 前期 : + 4.9 → 今期 : △ 7.8

仕入価格判断 D. I. 前期 : +22.2 → 今期 : +15.3

【 差 △17.3 → △23.1 】

(2) 地域別（全業種）



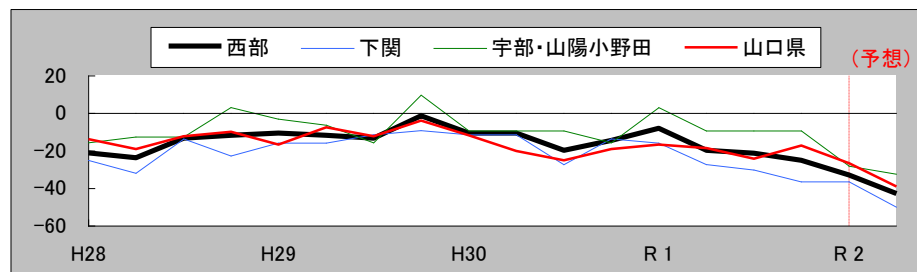
- ・ 今期の業況判断 D.I. を地域別にみると、中部地域がやや改善した以外は、西部、北部、東部地域で悪化した。特に、観光関連への依存度の高い北部地域では大幅な悪化となっている。

来期は、全地域で悪化が見込まれている。

	R1/			R2/	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月 (予想)
山口県	△ 18.6	△ 24.1	△ 17.2	△ 26.5	△ 39.1
西部地域	△ 19.7	△ 21.3	△ 25.0	△ 32.9	△ 42.7
中部地域	△ 17.1	△ 36.6	△ 22.0	△ 19.5	△ 48.8
北部地域	△ 34.8	△ 43.5	△ 17.4	△ 56.5	△ 59.1
東部地域	△ 12.5	△ 12.5	△ 4.7	△ 12.5	△ 21.9

(3) 地域別にみた特徴点（全業種）

①西部地域（下関市、宇部市、山陽小野田市とその周辺地域）



- ・ 西部地域の業況判断 D.I. は、今期は△32.9 と、前期の△25.0 から 7.9 ポイントの悪化となり、来期はさらに△42.7 まで悪化することが見込まれている。

業種別にみると、製造業、非製造業ともに悪化し、来期もさらに悪化することが見込まれている。

製造業 前期：△45.5 → 今期：△50.0 → 来期：△52.4

非製造業 前期：△16.7 → 今期：△25.9 → 来期：△38.9

- ・ 地域別にみると、下関地域は、製造業が横這いとなり、非製造業も、卸売業、小売業は改善したが、サービス業を中心に悪化したことから全体では横這いとなった。

宇部・山陽小野田地域は、製造業、非製造業のほとんどの業種で悪化した。

西部				
1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
H28	-21.1	-23.7	-13.2	-11.8
H29	-10.5	-11.8	-13.2	-1.3
H30	-10.5	-10.5	-19.7	-14.5
R 1	-7.9	-19.7	-21.3	-25.0
R 2	-32.9	-42.7		

(予想)

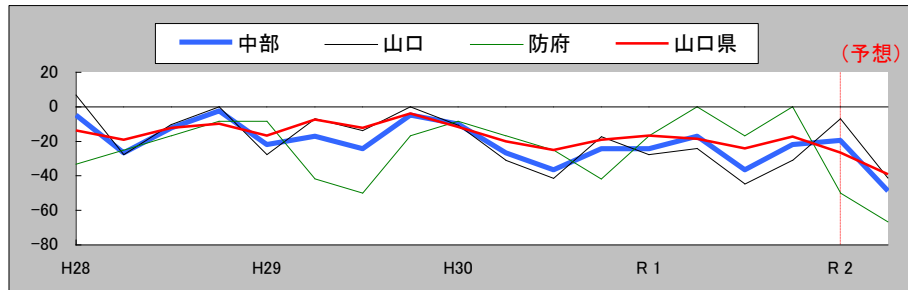
下関				
1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
H28	-25.0	-31.8	-13.6	-22.7
H29	-15.9	-15.9	-11.4	-9.1
H30	-11.4	-11.4	-27.3	-13.6
R 1	-15.9	-27.3	-30.2	-36.4
R 2	-36.4	-50.0		

(予想)

宇部・山陽小野田				
1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
H28	-15.6	-12.5	-12.5	-18.8
H29	-3.1	-6.3	-15.6	3.1
H30	-9.4	-9.4	-9.4	9.7
R 1	3.1	-9.4	-9.4	-9.4
R 2	-28.1	-32.3		

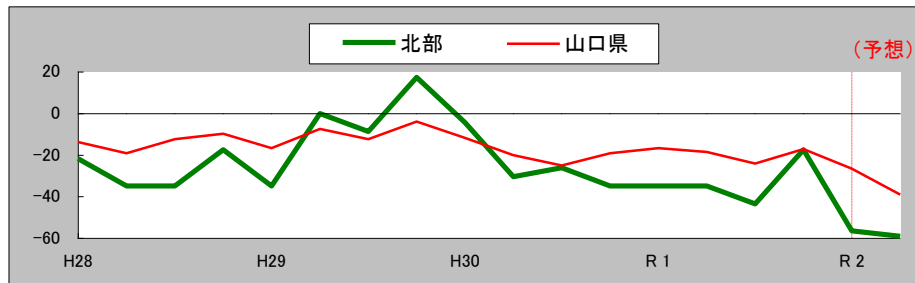
(予想)

②中部地域（山口市、防府市およびその周辺地域）



	中部				山口				防府			
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
H28	-4.9	-26.8	-12.2	-2.4	6.9	-27.6	-10.3	0.0	-33.3	-25.0	-16.7	-8.3
H29	-22.0	-17.1	-24.4	-4.9	-27.6	-6.9	-13.8	0.0	-8.3	-41.7	-50.0	-16.7
H30	-10.0	-26.8	-36.6	-24.4	-10.7	-31.0	-41.4	-17.2	-8.3	-16.7	-25.0	-41.7
R1	-24.4	-17.1	-36.6	-22.0	-27.6	-24.1	-44.8	-31.0	-16.7	0.0	-16.7	0.0
R2	-19.5	-48.8			-6.9	-41.4			-50.0	-66.7		
	(予想)				(予想)				(予想)			

③北部地域（萩市、長門市およびその周辺地域）



	北部			
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
H28	-21.7	-34.8	-34.8	-17.4
H29	-34.8	0.0	-8.7	17.4
H30	-4.3	-30.4	-26.1	-34.8
R1	-34.8	-34.8	-43.5	-17.4
R2	-56.5	-59.1		
	(予想)			

- 中部地域の業況判断D.I.は、今期は $\Delta 19.5$ と、前期の $\Delta 22.0$ から2.5ポイントの改善となったが、来期は $\Delta 48.8$ と、大幅な悪化が見込まれている。

業種別にみると、非製造業は横這いとなったが、製造業が木材加工、窯業・土石を中心に改善した。

来期は、製造業、非製造業ともに大幅な悪化が見込まれている。

製造業 前期： $\Delta 25.0$ → 今期： $\Delta 16.7$ → 来期： $\Delta 50.0$

非製造業 前期： $\Delta 20.7$ → 今期： $\Delta 20.7$ → 来期： $\Delta 48.3$

- 地域別にみると、山口地域は、製造業は木材加工、窯業・土石を中心に改善し、非製造業も卸売業、小売業を中心に改善した。

防府地域は、製造業、非製造業ともに悪化した。

- 北部地域の業況判断D.I.をみると、今期は $\Delta 56.5$ と、前期の $\Delta 17.4$ から39.1ポイントの大幅な悪化となり、来期はさらに $\Delta 59.1$ まで悪化することが見込まれている。

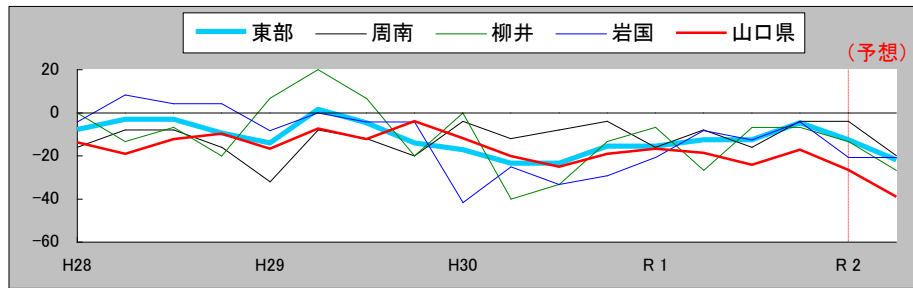
業種別にみると、製造業が水産加工を中心に悪化し、非製造業も不動産業を除く多くの業種で悪化した。

来期は、製造業は改善が見込まれているが、非製造業はさらに悪化することが見込まれている。

製造業 前期： $\Delta 16.7$ → 今期： $\Delta 50.0$ → 来期： $\Delta 40.0$

非製造業 前期： $\Delta 17.6$ → 今期： $\Delta 58.8$ → 来期： $\Delta 64.7$

④東部地域（周南市、柳井市、岩国市およびその周辺地域）



東部				
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月

H28	-7.8	-3.1	-3.1	-9.4
H29	-14.1	1.6	-4.7	-14.1
H30	-17.2	-23.4	-23.4	-15.6
R1	-15.6	-12.5	-12.5	-4.7
R2	-12.5	-21.9		

(予想)

周南				
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月

H28	-16.0	-8.0	-8.0	-16.0
H29	-32.0	-8.0	-12.0	-20.0
H30	-4.0	-12.0	-8.0	-4.0
R1	-16.0	-8.0	-16.0	-4.0
R2	-4.0	-20.0		

(予想)

柳井				
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月

H28	0.0	-13.3	-6.7	-20.0
H29	6.7	20.0	6.7	-20.0
H30	0.0	-40.0	-33.3	-13.3
R1	-6.7	-26.7	-6.7	-6.7
R2	-13.3	-26.7		

(予想)

岩国				
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月

H28	-4.2	8.3	4.2	4.2
H29	-8.3	0.0	-4.2	-4.2
H30	-41.7	-25.0	-33.3	-29.2
R1	-20.8	-8.3	-12.5	-4.2
R2	-20.8	-20.8		

(予想)

- 東部地域の業況判断 D.I. は、今期は $\Delta 12.5$ と、前期の $\Delta 4.7$ から 7.8 ポイントの悪化となり、来期はさらに $\Delta 21.9$ まで悪化することが見込まれている。

業種別にみると、製造業が一般機械、食品を中心に悪化し、非製造業も、建設業を中心に悪化した。

来期は、製造業は横這い、非製造業は悪化が見込まれている。

製造業 前期：+14.3 → 今期： $\Delta 14.3$ → 来期： $\Delta 14.3$

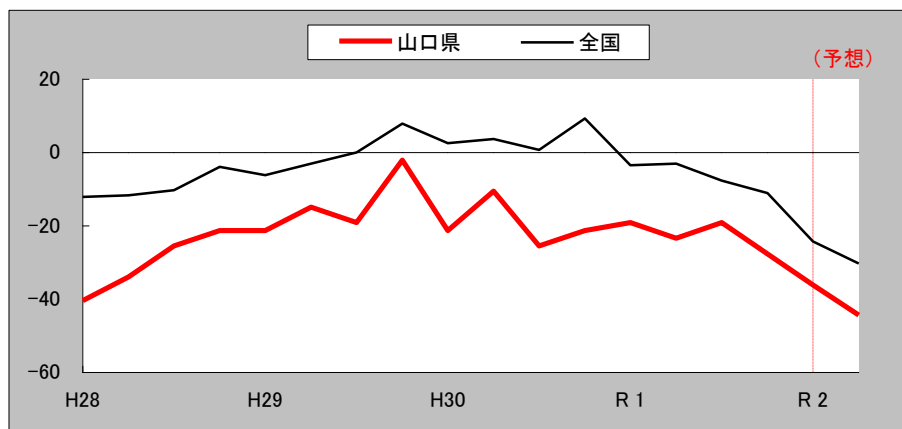
非製造業 前期： $\Delta 7.0$ → 今期： $\Delta 12.3$ → 来期： $\Delta 22.8$

- 地域別にみると、周南地域は、製造業が一般機械を中心に悪化したことが、非製造業が小売業、サービス業を中心に改善したことから、全体では横這いとなった。

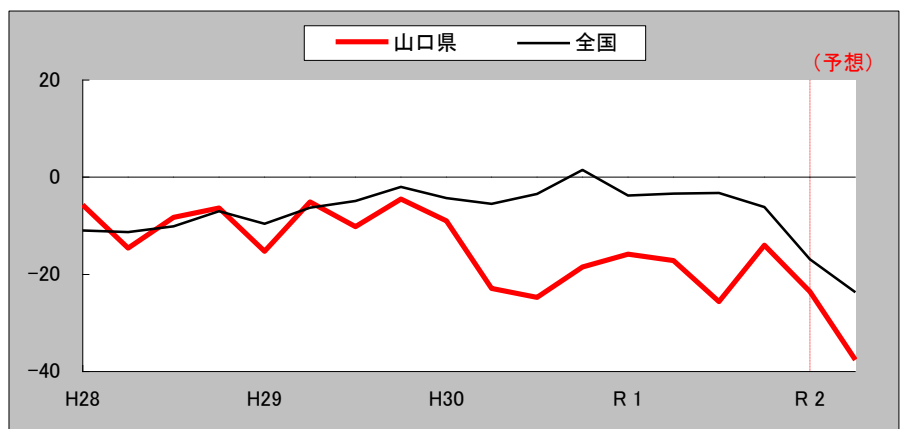
柳井地域、岩国地域は、製造業は横這いとなったが、非製造業がサービス業を中心に悪化した。

(4) 業種別の業況判断 D. I.

① 製造業



② 非製造業



- 業況判断 D. I. を業種別にみると、製造業は、輸送用機械、一般機械を中心に、 $\Delta 36.2$ と、前期の $\Delta 27.7$ から 8.5 ポイントの悪化となった。

来期はさらに $\Delta 44.4$ まで悪化することが見込まれている。

販売価格判断 D. I. 前期： ± 0.0 → 今期： ± 0.0

原材料価格判断 D. I. 前期： $+38.3$ → 今期： $+27.7$

【差 $\Delta 38.3$ → $\Delta 27.7$ 】

受注残 D. I. 前期： $\Delta 17.0$ → 今期： $\Delta 39.1$

- 非製造業の業況判断 D. I. は、小売業は改善したが、建設業、サービス業を中心に多くの業種で悪化し、 $\Delta 23.6$ と、前期の $\Delta 14.0$ から 9.6 ポイントの悪化となった。

来期はさらに $\Delta 37.6$ まで悪化することが見込まれている。

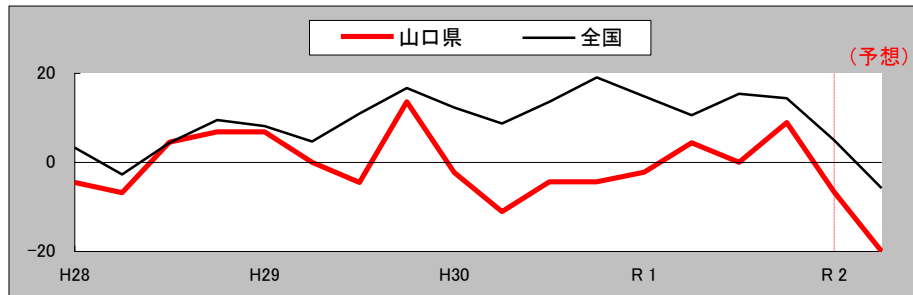
販売価格判断 D. I. 前期： $+6.4$ → 今期： $\Delta 10.2$

仕入れ・材料価格判断 D. I. 前期： $+17.3$ → 今期： $+11.5$

【差 $\Delta 10.9$ → $\Delta 21.7$ 】

	R1/ 4~6月	7~9月	10~12月	R2/ 1~3月	4~6月 (予想)
製造業	$\Delta 23.4$	$\Delta 19.1$	$\Delta 27.7$	$\Delta 36.2$	$\Delta 44.4$
非製造業	$\Delta 17.2$	$\Delta 25.6$	$\Delta 14.0$	$\Delta 23.6$	$\Delta 37.6$
建設業	4.4	0.0	8.9	$\Delta 6.7$	$\Delta 20.0$
卸売業	$\Delta 20.8$	$\Delta 39.1$	$\Delta 25.0$	$\Delta 32.0$	$\Delta 48.0$
小売業	$\Delta 40.0$	$\Delta 41.7$	$\Delta 25.7$	$\Delta 21.2$	$\Delta 51.5$
サービス業	$\Delta 42.1$	$\Delta 39.5$	$\Delta 26.3$	$\Delta 38.5$	$\Delta 46.2$
不動産業	40.0	$\Delta 6.7$	$\Delta 6.7$	$\Delta 26.7$	$\Delta 20.0$

②-i. 建設業



- 建設業の業況判断 D. I. は、公共工事の減少を主因に、前期の+8.9 から 15.6 ポイント悪化して△6.7 となった。

来期はさらに△20.0 まで悪化することが見込まれている。

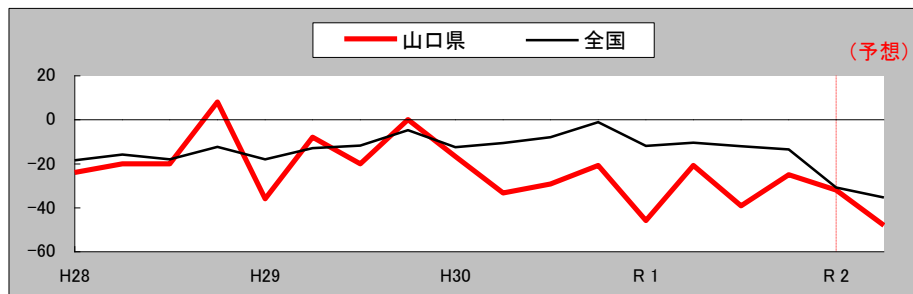
請負価格判断 D. I. 前期：+ 4.4 → 今期：△20.0

材料価格判断 D. I. 前期：+17.8 → 今期：+22.2

【差 △13.4 → △42.2】

受注残 D. I. 前期：+22.2 → 今期：△15.6

②-ii. 卸売業



- 卸売業の業況判断 D. I. は、前期の△25.0 から 7.0 ポイント悪化して△32.0 となった。

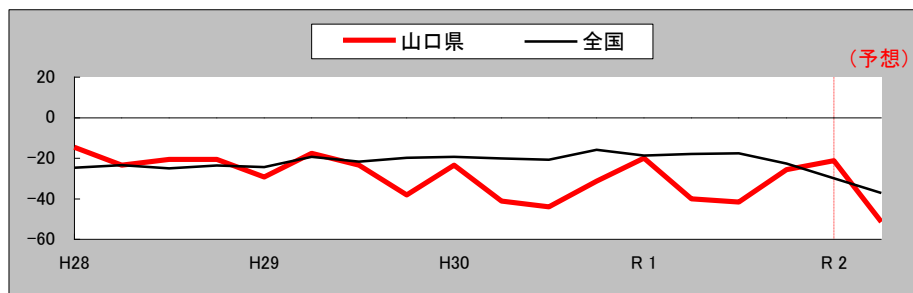
来期はさらに△48.0 まで悪化する見込みとなっている。

販売価格判断 D. I. 前期：+ 8.3 → 今期：△16.0

仕入価格判断 D. I. 前期：+ 4.2 → 今期：+ 4.0

【差 + 4.1 → △20.0】

②-iii. 小売業



- 小売業の業況判断 D. I. は、前期の△25.7 から 4.5 ポイント改善して△21.2 となった。

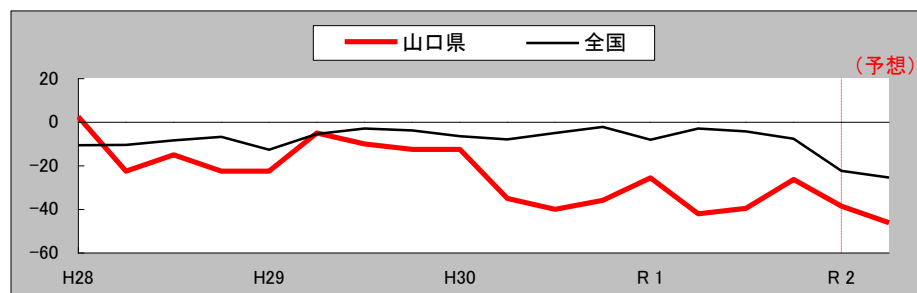
来期は△51.5 と、大幅に悪化することが見込まれている。

販売価格判断 D. I. 前期：+11.4 → 今期：+ 9.1

仕入価格判断 D. I. 前期：+14.3 → 今期：+ 3.0

【差 △ 2.9 → + 6.1】

②-iv. サービス業



- サービス業の業況判断D.I.は、前期の $\Delta 26.3$ から12.2ポイント悪化して $\Delta 38.5$ となった。

国内外の観光客の激減や外出自粛要請により、観光関連、飲食業を中心に大幅な悪化となった。

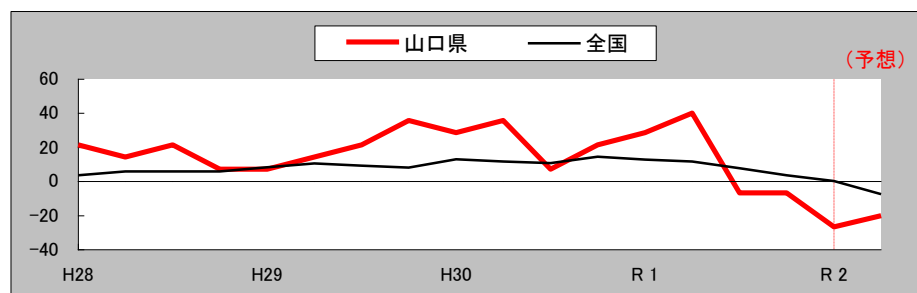
来期は、さらに $\Delta 46.2$ まで悪化することが見込まれている。

料金価格判断D.I. 前期：+ 2.6 → 今期： $\Delta 5.1$

材料価格判断D.I. 前期：+27.0 → 今期：+15.8

【差 $\Delta 24.4$ → $\Delta 20.9$ 】

②-v. 不動産業



- 不動産業の業況判断D.I.は、前期の $\Delta 6.7$ から20.0ポイント悪化して $\Delta 26.7$ となった。

消費税増税の影響緩和策もあって、物件の動きが鈍い状況が続いている。

来期は $\Delta 20.0$ まで改善することが見込まれている。

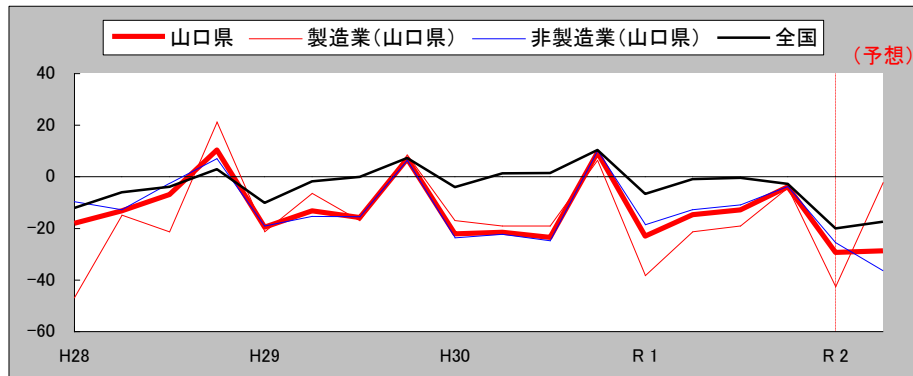
販売価格D.I. 前期：+ 6.7 → 今期： $\Delta 26.7$

仕入価格D.I. 前期：+20.0 → 今期： ± 0.0

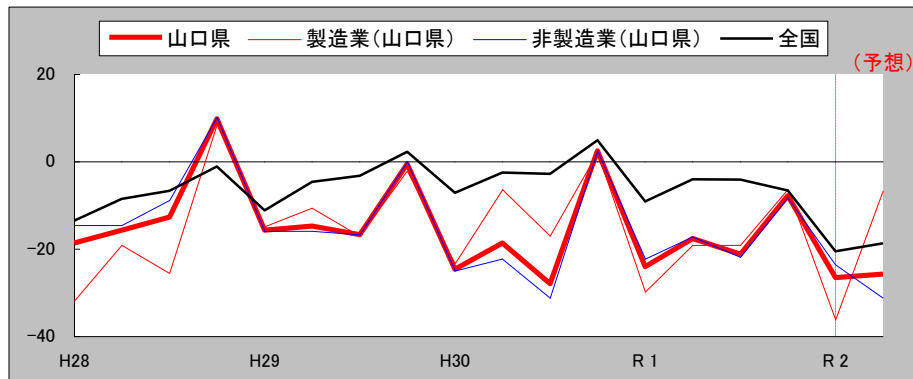
【差 $\Delta 13.3$ → $\Delta 26.7$ 】

2. 項目別の動向

(1) 売上額 D. I. (全業種)



(2) 収益 D. I. (全業種)



- ・ 売上額 D. I. は、前期の $\Delta 3.9$ から 25.5 ポイント悪化して $\Delta 29.4$ となった。

来期は $\Delta 28.7$ と、やや改善することが見込まれている。

製造業 $\Delta 38.3$ (前期： $\Delta 4.3$ → 今期： $\Delta 42.6$)

非製造業 $\Delta 21.7$ (前期： $\Delta 3.8$ → 今期： $\Delta 25.5$)

(非製造業の内訳：前期と今期の差)

建設業： $\Delta 2.2$ 、卸売業： $\Delta 39.7$ 、小売業： $\Delta 28.1$ 、

サービス業： $\Delta 41.0$ 、不動産業： $+13.3$

- ・ 収益 D. I. は、前期の $\Delta 7.8$ から 18.7 ポイント悪化して $\Delta 26.5$ となった。

来期は $\Delta 25.7$ と、やや改善することが見込まれている。

製造業 $\Delta 29.8$ (前期： $\Delta 6.4$ → 今期： $\Delta 36.2$)

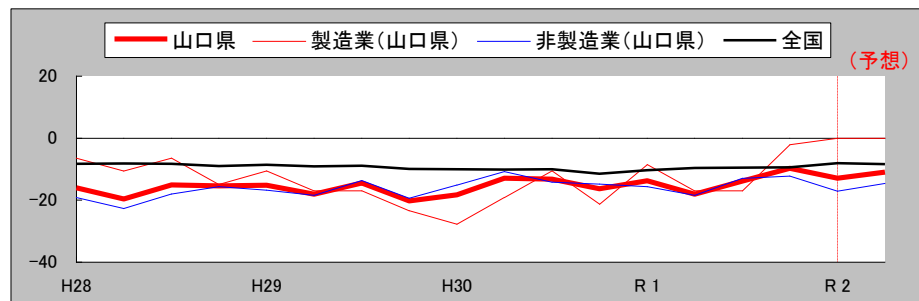
非製造業 $\Delta 15.3$ (前期： $\Delta 8.3$ → 今期： $\Delta 23.6$)

(非製造業の内訳：前期と今期の差)

建設業： $+4.4$ 、卸売業： $\Delta 23.5$ 、小売業： $\Delta 28.0$ 、

サービス業： $\Delta 33.2$ 、不動産業： $+13.3$

(3) 設備判断 D. I. (全業種)



- 設備に関する判断 D. I. をみると、前期の $\Delta 9.7$ から不足感が強まって $\Delta 12.9$ となっているが、来期は $\Delta 11.0$ と、やや弱まる見込みとなっている。

製造業 + 2.1 (前期 : $\Delta 2.1$ → 今期 : ± 0.0)

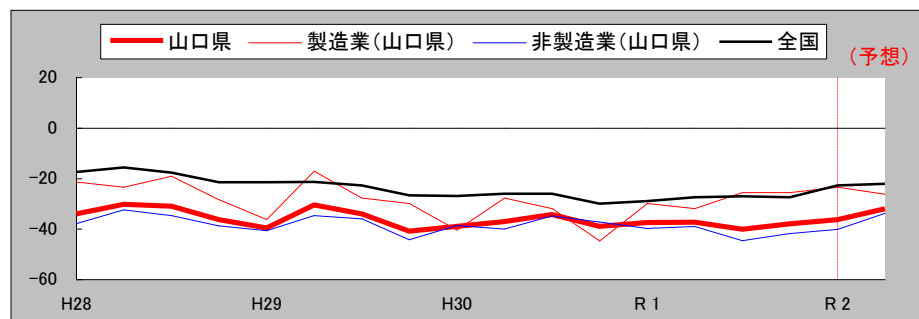
非製造業 $\Delta 4.9$ (前期 : $\Delta 12.2$ → 今期 : $\Delta 17.1$)

設備投資実施企業の割合

山口県 前期 : 26.5% → 今期 : 27.9% → 来期 : 23.5%

全国 前期 : 22.6% → 今期 : 21.5% → 来期 : 19.4%

(4) 雇用判断 D. I. (全業種)

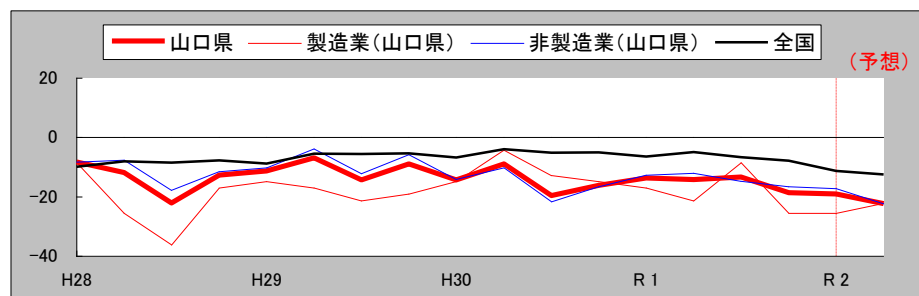


- 雇用判断 D. I. をみると、今期は $\Delta 36.3$ と、前期の $\Delta 37.9$ から従業員の不足感は弱まっており、来期はさらに $\Delta 32.0$ まで弱まる見込みとなっている。

製造業 + 2.1 (前期 : $\Delta 25.5$ → 今期 : $\Delta 23.4$)

非製造業 + 1.6 (前期 : $\Delta 41.7$ → 今期 : $\Delta 40.1$)

(5) 資金繰り判断 D. I. (全業種)



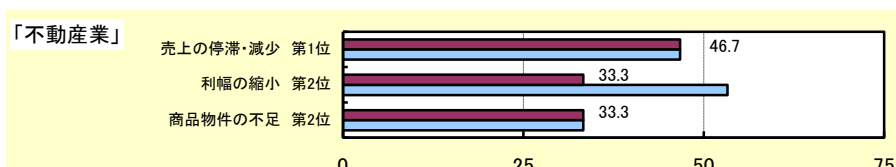
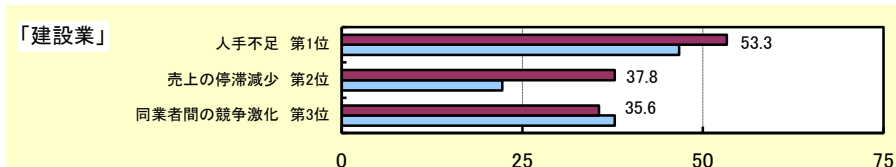
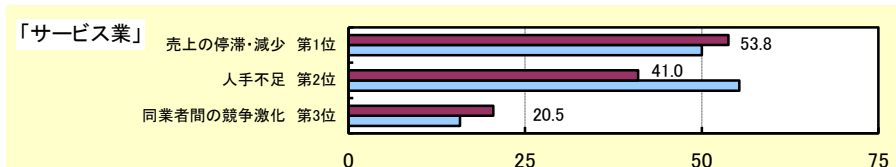
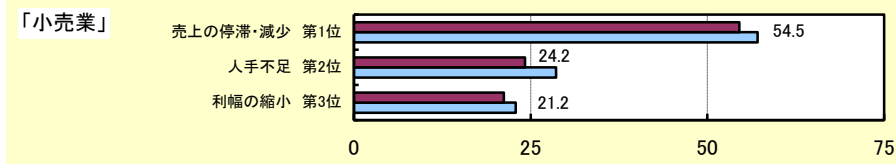
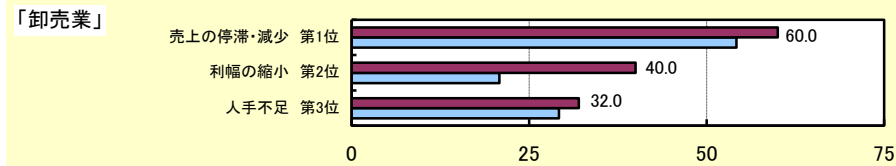
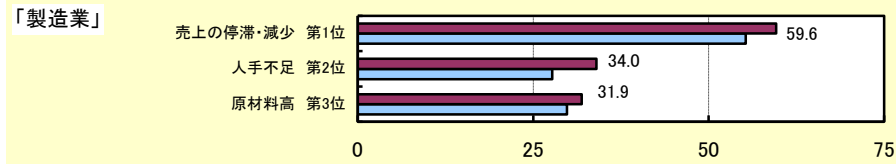
- 資金繰り判断 D. I. をみると、今期は $\Delta 19.1$ と、前期の $\Delta 18.6$ からやや悪化しているが、来期はさらに $\Delta 22.3$ まで悪化することが見込まれている。

製造業 ± 0.0 (前期 : $\Delta 25.5$ → 今期 : $\Delta 25.5$)

非製造業 $\Delta 0.6$ (前期 : $\Delta 16.6$ → 今期 : $\Delta 17.2$)

3. 経営上の問題点（複数回答）

■ 1-3 月期 ■ 10-12 月期（単位：％）

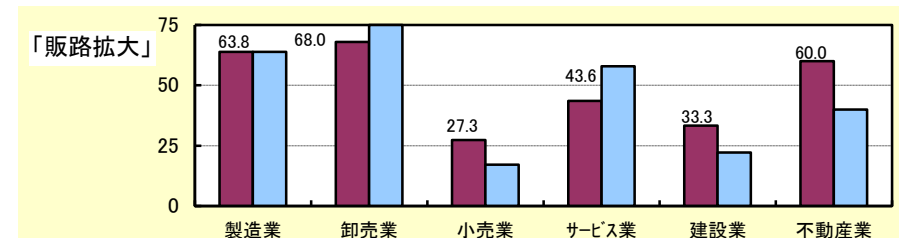
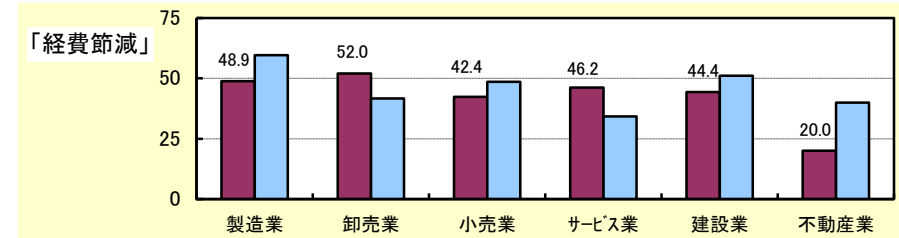


- 経営上の問題点をみると、建設業を除く各業種で「売上の停滞・減少」が第1位となっている。建設業は引き続き「人手不足」が第1位となっている。

新型コロナウイルス感染拡大の影響から、「売上の停滞・減少」を挙げる企業の割合が大幅に増加している。

4. 当面の重点経営施策（複数回答）

■ 1-3 月期 ■ 10-12 月期（単位：％）



- 上記、経営上の問題点を踏まえた当面の重点経営施策は、製造業、卸売業で「販路拡大」、小売業、サービス業で「経費節減」、建設業で「人材確保」、不動産業で「情報力の強化」が第1位となっている。

主要経済指標

年度/月	鉱工業指数 (平成27年=100、季節調整値)										通関実績									
	生産				出荷				在庫				輸出			輸入				
	山口県		全国		山口県		全国		山口県		全国		山口県		全国		山口県		全国	
	前月比	前月比	前月比	前月比	前月比	前月比	前月比	前月比	前月比	前月比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
	(CY:原指数月平均)	(CY:原指数月平均)	(CY:原指数月平均)	(CY:原指数月平均)	(CY:原指数月平均)	(CY:原指数月平均)	(CY:原指数月平均)	(CY:原指数月平均)	(CY:原指数月平均)	(CY:原指数月平均)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	
2017 (H29)	102.0	-	103.1	-	101.3	-	102.2	-	100.0	-	99.4	-	2,077,032	22.5	78,286,457	11.8	1,169,891	25.1	75,379,231	14.1
2018 (H30)	105.3	-	104.2	-	102.3	-	103.0	-	106.5	-	102.0	-	2,056,063	△ 1.0	81,478,753	4.1	1,409,079	20.4	82,703,304	9.7
2019 (R 1)	107.1	-	101.2	-	103.1	-	100.3	-	106.0	-	103.7	-	1,808,463	△ 12.0	76,931,665	△ 5.6	1,247,015	△ 11.5	78,599,510	△ 5.0
2019. 1	108.3	1.6	102.1	△ 2.5	105.6	0.5	100.6	△ 2.4	109.0	2.7	102.0	△ 0.9	r 162,152	r △ 10.3	r 5,574,423	△ 8.4	r 104,250	△ 11.4	r 6,998,477	r △ 0.7
2019. 2	111.8	3.2	102.8	0.7	110.7	4.8	102.2	1.6	106.3	△ 2.5	102.4	0.4	r 164,824	9.1	r 6,385,419	△ 1.2	r 108,176	r 0.4	r 6,056,654	△ 6.5
2019. 3	106.5	△ 4.7	102.2	△ 0.6	103.3	△ 6.7	100.9	△ 1.3	108.2	1.8	103.8	1.4	r 173,801	△ 10.3	r 7,202,147	△ 2.4	r 103,278	r △ 5.4	r 6,684,855	r 1.3
2019. 4	110.9	4.1	102.8	0.6	104.5	1.2	102.7	1.8	106.2	△ 1.8	103.8	0.0	r 169,784	△ 3.3	r 6,664,294	r △ 2.3	r 107,058	r △ 2.2	r 6,605,306	6.5
2019. 5	108.6	△ 2.1	104.9	2.0	106.1	1.5	104.0	1.3	106.2	0.0	104.3	0.5	r 147,369	△ 15.1	r 5,837,841	r △ 7.7	r 94,410	r △ 19.3	r 6,803,249	r △ 1.5
2019. 6	111.9	3.0	101.4	△ 3.3	106.4	0.3	99.8	△ 4.0	106.7	0.5	104.7	0.4	r 150,544	△ 18.6	r 6,585,087	△ 6.6	r 104,591	△ 4.9	r 5,996,977	△ 5.2
2019. 7	106.1	△ 5.2	102.7	1.3	103.0	△ 3.2	102.5	2.7	103.3	△ 3.2	104.5	△ 0.2	r 158,870	1.2	r 6,643,460	△ 1.5	r 106,583	r △ 9.2	r 6,897,341	△ 1.1
2019. 8	108.8	2.5	101.5	△ 1.2	99.4	△ 3.5	101.2	△ 1.3	107.8	4.4	104.4	△ 0.1	r 144,029	△ 7.1	r 6,138,720	△ 8.2	r 95,623	△ 24.1	r 6,290,930	r △ 11.8
2019. 9	113.9	4.7	103.2	1.7	107.7	8.4	102.7	1.5	106.2	△ 1.5	102.9	△ 1.4	r 140,832	△ 11.0	r 6,368,996	△ 5.2	r 98,004	r △ 10.8	r 6,498,069	r △ 1.4
2019.10	r 109.9	r △ 3.5	98.6	△ 4.5	r 105.4	r △ 2.1	98.1	△ 4.5	102.0	△ 4.0	104.2	1.3	r 131,852	△ 26.1	r 6,576,172	△ 9.2	r 106,712	r △ 19.4	r 6,565,009	△ 14.7
2019.11	96.2	△ 12.5	r 97.6	r △ 1.0	93.4	△ 11.4	96.4	△ 1.7	106.9	4.8	r 103.3	r △ 0.9	r 128,918	△ 25.1	r 6,379,008	△ 7.9	r 96,116	r △ 30.2	r 6,467,394	r △ 15.6
2019.12	97.3	1.1	98.8	1.2	96.8	3.6	96.7	0.3	103.1	△ 3.6	104.2	0.9	r 135,486	△ 22.8	6,576,097	△ 6.3	r 122,215	6.4	r 6,735,246	△ 4.8
2020. 1	P 101.0	3.8	99.8	1.0	P 91.8	△ 5.2	97.3	0.6	P 108.7	5.4	105.9	1.6	r 118,712	△ 26.8	5,431,202	△ 2.6	100,020	△ 4.1	6,746,313	△ 3.6
2020. 2			P 100.2	0.4			P 99.8	2.6			P 103.8	△ 2.0	r 141,560	△ 14.1	6,321,285	△ 1.0	P 81,133	△ 25.0	P 5,212,520	△ 13.9
2020. 3																				
出所	山口県				経済産業省				山口県				経済産業省				財務省・神戸税関			

年度/月	公共工事 (公共機関からの1件500万円以上の受注工事)				新設住宅着工戸数				着工建築物床面積								人口 (各月1日現在人口、年度は10月1日現在)			
	山口県		全国		山口県		全国		居住用				非居住用				山口県		全国	
	(百万円)	前年比	(百万円)	前年比	(戸)	前年比	(戸)	前年比	(㎡)	前年比	(㎡)	前年比	(㎡)	前年比	(㎡)	前年比	(人)	前年比	(千人)	前年比
2017 (H29)	177,412	△ 18.7	15,327,564	△ 1.8	7,878	△ 5.2	946,396	△ 2.8	713,024	△ 7.2	79,716,687	△ 3.8	592,549	18.3	53,312,669	3.9	1,381,584	△ 0.88	126,706	△ 0.18
2018 (H30)	183,733	3.6	14,830,195	△ 3.2	8,358	6.1	952,936	0.7	756,703	6.1	80,063,381	0.4	556,607	△ 6.1	51,016,027	△ 4.3	1,368,495	△ 0.95	126,443	△ 0.21
2019 (R 1)																	1,355,495	△ 0.95	126,167	△ 0.22
2019. 1	11,960	6.2	1,084,298	32.8	611	6.4	67,087	1.1	61,047	15.9	5,746,726	3.8	72,201	155.5	3,970,231	1.0	1,365,926	△ 0.95	126,317	△ 0.22
2019. 2	19,259	118.1	1,029,119	△ 9.1	725	5.7	71,966	4.2	64,863	6.7	6,089,377	6.4	27,529	△ 46.9	3,699,616	△ 15.1	1,364,778	△ 0.93	126,310	△ 0.24
2019. 3	14,708	△ 47.8	2,322,839	12.8	681	△ 11.3	76,558	10.0	63,421	△ 7.0	6,632,566	13.2	38,122	△ 17.7	3,333,906	△ 19.3	1,363,428	△ 0.93	126,248	△ 0.19
2019. 4	8,190	27.6	892,114	6.4	540	6.9	79,389	△ 5.7	52,623	16.2	6,782,771	△ 4.6	47,565	46.7	4,439,674	△ 4.0	1,358,607	△ 0.91	126,254	△ 0.20
2019. 5	8,116	36.5	930,331	4.3	390	△ 17.7	72,581	△ 8.7	36,221	△ 22.4	6,382,202	△ 5.0	23,440	28.5	4,170,245	△ 0.5	1,360,644	△ 0.90	126,181	△ 0.23
2019. 6	11,607	12.0	1,545,193	23.0	587	△ 23.6	81,541	0.3	54,972	△ 18.8	7,170,942	5.7	46,070	△ 56.3	4,640,761	1.7	1,359,804	△ 0.91	126,252	△ 0.20
2019. 7	14,346	△ 8.8	1,525,734	26.1	558	△ 27.2	79,232	△ 4.1	54,123	△ 19.9	6,994,771	1.2	37,269	△ 12.1	4,979,575	0.4	1,358,830	△ 0.92	126,265	△ 0.21
2019. 8	15,699	41.5	1,325,492	4.2	893	23.5	76,034	△ 7.1	80,838	19.9	7,179,951	7.1	43,793	△ 2.3	3,987,495	△ 5.1	1,356,978	△ 0.93	r 126,219	r △ 0.22
2019. 9	27,076	95.4	1,665,306	9.4	473	△ 22.3	77,915	△ 4.9	41,370	△ 23.7	6,706,571	△ 0.5	56,072	98.6	3,609,426	△ 18.4	1,355,979	△ 0.95	r 126,131	r △ 0.23
2019.10	20,817	△ 32.0	1,334,714	2.1	714	△ 8.7	77,123	△ 7.4	63,410	△ 8.9	6,693,052	△ 4.4	58,265	33.8	3,922,227	△ 14.8	1,355,495	△ 0.95	r 126,167	r △ 0.22
2019.11	28,550	27.1	1,097,049	7.2	563	△ 38.3	73,523	△ 12.7	51,835	△ 34.8	6,317,077	△ 10.3	45,167	△ 43.4	3,749,783	△ 9.7	1,354,959	△ 0.95	P 126,180	△ 0.22
2019.12	12,756	△ 40.2	1,106,052	3.0	576	△ 28.1	72,174	△ 7.9	50,725	△ 26.9	6,171,740	△ 6.3	25,196	5.2	4,184,348	△ 2.5	r 1,353,799	△ 0.97	P 126,150	△ 0.22
2020. 1	13,610	13.8	873,870	△ 19.4	477	△ 21.9	60,341	△ 10.1	43,363	△ 29.0	5,015,174	△ 12.7	24,332	△ 66.3	2,972,889	△ 25.1	1,352,746	△ 0.96	P 126,020	△ 0.23
2020. 2					594	△ 18.1	63,105	△ 12.3	55,966	△ 13.7	5,425,805	△ 10.9	35,060	27.4	3,604,516	△ 2.6	1,351,340	△ 0.98	P 126,010	△ 0.24
2020. 3																	1,349,938	△ 0.99	P 125,950	△ 0.23
出所	国土交通省				国土交通省				国土交通省								山口県		総務省統計局	

主要経済指標

注：前年比 = 前年同月比増減率、P = 速報値、r = 修正値

年度/月	百貨店・スーパー販売額				コンビニエンスストア販売額				家電大型専門店販売額				ドラッグストア販売額				ホームセンター販売額			
	山口県		全国		山口県		全国		山口県		全国		山口県		全国		山口県		全国	
	(百万円) (CY)	(%) (既存店)	(億円) (CY)	(%) (既存店)	(百万円) (CY)	(%)	(億円) (CY)	(%)	(百万円) (CY)	(%)	(億円) (CY)	(%)	(百万円) (CY)	(%)	(億円) (CY)	(%)	(百万円) (CY)	(%)	(億円) (CY)	(%)
2017 (H29)	162,010	△ 2.9	196,025	0.0	119,265	0.9	117,451	2.4	37,890	1.1	43,115	3.1	71,695	3.9	60,580	5.4	36,066	△ 3.1	32,942	△ 0.4
2018 (H30)	161,066	△ 1.9	196,044	△ 0.5	121,009	1.5	119,780	2.0	38,409	1.4	43,912	2.1	73,530	2.8	63,644	5.9	35,099	△ 2.7	32,853	△ 0.3
2019 (R 1)	156,647	△ 2.0	193,962	△ 1.3	122,722	1.4	121,841	1.7	40,838	6.3	45,454	3.5	76,919	4.5	68,356	5.6	34,416	△ 1.9	32,748	△ 0.3
2019. 1	12,899	△ 5.4	r 16,327	△ 3.3	9,726	2.3	9,564	2.6	3,228	1.0	r 3,862	r 0.5	r 5,823	3.2	r 5,344	4.9	2,346	△ 1.6	2,363	△ 2.0
2019. 2	11,452	△ 2.6	r 14,350	△ 1.8	9,129	4.5	9,003	3.8	2,587	△ 2.6	r 3,084	r 0.6	r 5,722	3.5	r 5,093	r 4.3	2,229	△ 3.2	2,139	△ 1.4
2019. 3	13,320	△ 1.0	r 16,529	0.5	10,218	1.6	10,126	1.6	3,820	4.9	r 4,277	r 6.3	r 6,452	4.3	r 5,668	r 5.8	2,872	△ 2.4	r 2,632	r 0.1
2019. 4	12,656	△ 0.3	r 15,359	r △ 1.7	9,991	3.3	9,977	2.6	2,814	7.0	r 3,364	r 0.9	r 6,148	2.6	r 5,580	r 3.5	3,169	△ 6.4	2,870	△ 3.5
2019. 5	12,868	△ 0.9	r 15,636	△ 0.5	10,372	3.5	10,258	2.8	2,944	11.6	r 3,477	r 7.3	r 6,498	5.7	r 5,706	r 6.0	3,285	3.6	3,040	3.0
2019. 6	12,814	△ 0.4	r 15,982	△ 0.5	10,051	1.0	10,116	1.4	3,528	14.7	r 3,752	r 7.3	r 6,482	4.6	r 5,755	r 5.6	2,894	△ 1.2	r 2,684	r △ 0.1
2019. 7	13,062	△ 6.3	r 16,246	△ 4.8	10,776	△ 1.6	10,760	△ 1.3	3,899	△ 14.3	r 4,046	r △ 10.4	r 6,761	r 0.0	r 5,878	r 2.0	2,877	△ 11.6	2,724	△ 7.1
2019. 8	13,428	△ 1.5	r 15,893	r 0.4	11,076	0.1	10,950	1.9	3,859	22.9	r 4,116	r 17.6	r 6,650	4.3	r 5,881	r 6.4	2,914	0.4	2,866	4.7
2019. 9	13,110	5.0	r 16,721	r 10.1	10,164	△ 1.0	10,203	△ 0.2	5,065	71.4	5,154	52.4	r 7,481	27.9	r 6,370	21.8	3,301	25.0	3,045	17.5
2019.10	12,076	△ 7.8	r 14,572	△ 8.2	10,357	2.6	10,314	3.3	2,146	△ 16.0	2,659	△ 14.2	r 5,751	△ 6.6	r 5,420	r 0.2	2,615	△ 11.8	2,550	△ 7.1
2019.11	12,811	△ 0.3	r 16,113	△ 1.8	9,995	1.4	9,938	2.3	2,927	△ 2.4	3,185	△ 5.5	r 5,892	r 1.4	r 5,467	r 3.4	2,735	△ 5.1	r 2,629	r △ 2.1
2019.12	16,152	△ 1.7	20,234	△ 2.8	10,867	0.3	10,633	0.6	4,021	△ 8.2	4,478	△ 11.2	7,259	3.9	6,195	4.4	3,179	△ 5.0	3,205	△ 4.2
2020. 1	12,498	△ 1.4	16,064	△ 1.5	9,849	1.3	9,714	1.6	3,389	5.0	3,851	△ 0.3	6,136	5.4	5,683	6.3	2,247	△ 4.2	2,326	△ 1.5
2020. 2	P 11,541	2.6	P 14,387	0.2	P 9,349	2.4	P 9,308	3.4	P 2,999	15.9	P 3,245	5.2	P 6,787	18.6	P 6,054	18.9	P 2,357	5.7	P 2,345	9.6
2020. 3																				
出所	経済産業省																			

※前年比は接続計数(リンク計数)処理値で算出。

年度/月	企業倒産 (負債総額1,000万円以上)								有効求人倍率				所定外労働時間指数				雇用保険受給者実人員			
	倒産件数				負債総額				(新規学卒者を除きパートタイムを含む。季節調整値)				(事業所規模5人以上。平成27年平均=100)				(一般求職者給付 基本手当)			
	山口県		全国		山口県		全国		山口県		全国		山口県		全国		山口県		全国	
(件)	前年比 (%)	(件)	前年比 (%)	(百万円)	前年比 (%)	(百万円)	前年比 (%)	(倍)	有効求職者数 (分母)	有効求人数 (分子)	(倍)	(CY)	前年比 (%)	(CY)	前年比 (%)	(人)	前年比 (%)	(人)	前年比 (%)	
2017 (H29)	60	△ 13.0	8,367	△ 0.2	8,216	△ 15.1	3,083,725	58.1	1.51	19,636	29,671	1.54	99.8	1.3	99.5	1.1	3,934	△ 4.1	378,344	△ 5.6
2018 (H30)	57	△ 5.0	8,111	△ 3.1	6,183	△ 24.7	1,619,281	△ 47.5	1.61	18,958	30,522	1.62	97.1	△ 2.7	98.1	△ 1.4	3,969	0.9	374,762	△ 0.9
2019 (R 1)																				
2019. 1	2	△ 50.0	666	4.9	420	40.0	168,374	61.0	1.65	r 18,818	r 31,057	1.63	93.8	△ 4.5	92.7	△ 1.9	3,737	2.0	361,170	1.4
2019. 2	2	△ 71.4	r 588	r △ 4.7	61	△ 94.3	r 194,984	r 116.7	r 1.65	r 18,771	r 31,023	1.63	93.8	△ 4.5	97.3	△ 0.9	3,552	1.3	345,754	1.8
2019. 3	3	△ 50.0	662	△ 16.1	145	△ 48.4	97,114	△ 26.8	r 1.62	r 18,757	r 30,303	r 1.62	97.3	△ 6.8	99.1	△ 3.5	3,555	1.1	339,181	0.8
2019. 4	6	200.0	645	△ 0.8	320	146.2	106,916	12.0	r 1.63	r 18,651	r 30,487	1.63	95.6	△ 5.3	100.9	△ 1.8	3,600	4.9	347,674	6.6
2019. 5	10	11.1	695	△ 9.4	7,958	1,768.1	107,465	2.9	r 1.62	r 18,950	r 30,636	1.62	92.0	△ 1.9	94.5	△ 2.9	4,021	△ 3.9	387,675	△ 0.3
2019. 6	7	40.0	734	6.4	257	△ 55.2	86,957	△ 60.4	r 1.62	r 19,010	r 30,720	1.61	91.2	△ 2.8	95.5	△ 2.7	4,103	1.4	386,551	2.1
2019. 7	5	25.0	802	14.2	160	△ 53.1	93,400	△ 17.1	r 1.61	r 19,048	r 30,696	1.59	91.2	△ 1.8	95.5	△ 0.9	4,416	0.6	417,954	4.8
2019. 8	3	△ 62.5	678	△ 2.3	69	△ 83.5	87,149	△ 28.1	r 1.60	r 19,098	r 30,526	1.59	85.0	△ 2.0	90.0	△ 2.0	4,356	△ 4.2	416,434	△ 1.0
2019. 9	4	△ 42.9	702	13.0	944	667.5	112,985	△ 38.7	r 1.61	r 19,019	r 30,598	r 1.58	94.7	1.0	95.5	0.0	4,373	3.5	409,469	3.3
2019.10	7	40.0	780	6.8	1,813	75.3	88,578	△ 24.7	r 1.61	r 18,853	r 30,302	r 1.58	94.7	△ 3.6	98.2	△ 1.8	4,310	0.1	405,337	0.2
2019.11	8	60.0	r 727	r 1.3	395	△ 79.2	r 122,452	r 1.0	1.60	r 18,928	r 30,198	1.57	96.5	△ 6.8	98.2	△ 2.7	3,886	△ 1.6	385,714	1.5
2019.12	2	△ 60.0	704	13.2	450	△ 26.7	156,864	91.8	1.59	18,871	29,937	1.57	89.4	△ 11.4	96.4	△ 2.7	3,953	6.8	386,234	8.1
2020. 1	6	200.0	773	16.1	277	△ 34.0	124,734	△ 25.9	1.47	19,102	28,020	1.49			P 90.0	△ 2.9	3,785	1.3	383,602	6.2
2020. 2	7	250.0	651	10.7	295	383.6	71,283	△ 63.4	1.42	19,162	27,241	1.45					3,686	3.8	358,131	3.6
2020. 3																				
出所	株式会社東京商工リサーチ								厚生労働省・山口労働局				山口県		厚生労働省		厚生労働省・山口労働局			

【特別調査】 「外国人・海外情勢と中小企業」（山口県内中小企業 114 社に対するアンケート調査結果）

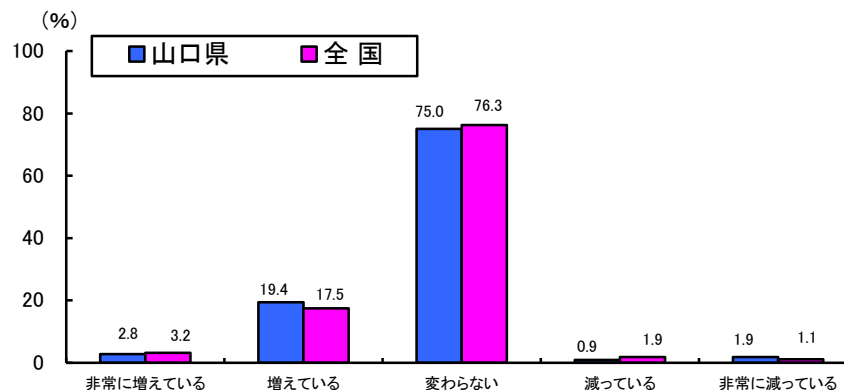
近年、インバウンド観光客の増加や、人手不足による外国人労働者の受入が増加している中で、山口県内中小企業者の、外国人との接触機会は 2 割強と少なく、外国人を雇用している企業も 1 割強にとどまっている。

売上全体に占める外国人、外国企業の割合は 2 割弱で、多くの企業が売上を増加させる取組みを行っていない。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、経済活動の停滞が懸念される中で、「日中関係」、「米中貿易摩擦」、「日韓関係」に注目している企業が多い。

1. 外国人との接触の機会

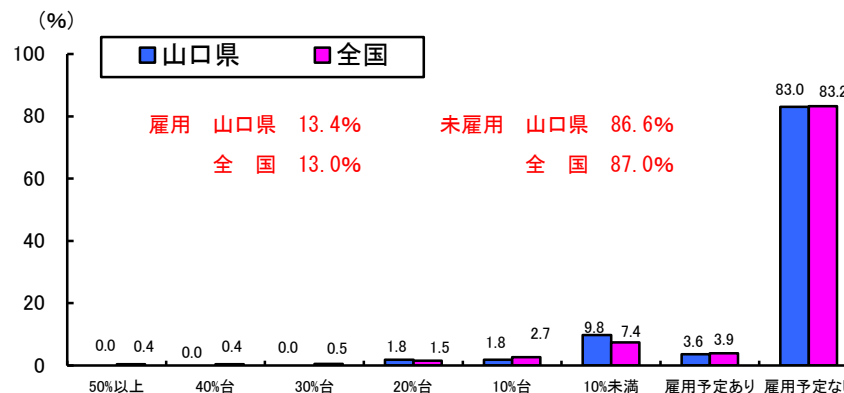
事業環境や地域環境の中での外国人との接触の機会については、「非常に増えている・増えている」と回答した企業の割合は 22.2% となっている。



2. 外国人労働者の雇用状況

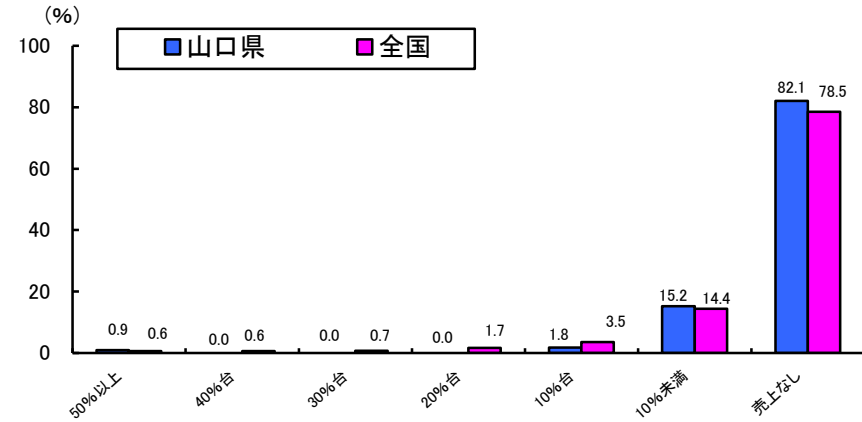
設問 1 の状況下において、外国人労働者を「雇用している」企業の割合は 13.4% となっており、労働者全体に占める割合は「10%未満」が 9.8% と、最も多くなっている。

「雇用していない」企業の割合が 86.6% ある中で、「雇用する予定がある」企業の割合は 3.6% にとどまっている。



3. 売上全体に占める外国人、外国企業の割合

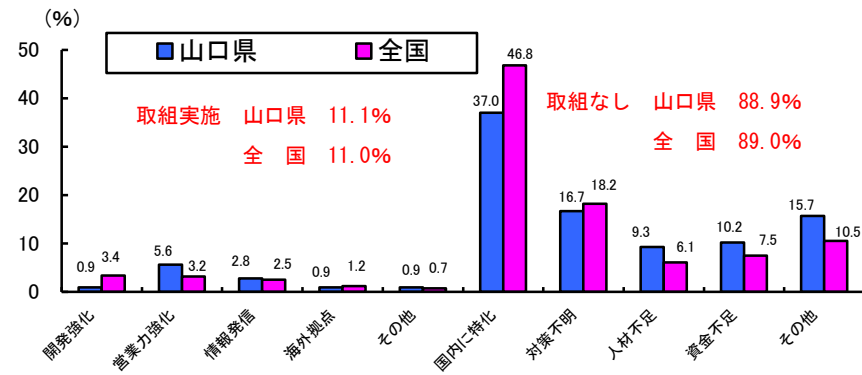
外国向け（旅行者を含む外国人、輸出を含む外国企業）の売上がある企業の割合は17.9%となっており、「10%未満」が15.2%と最も多くなっている。



4. 外国向け売上増加への取組み

外国向けの売上を増加させるための取組みを行っている企業の割合は11.1%で、その内容としては「営業力の強化」が5.6%と最も多い。

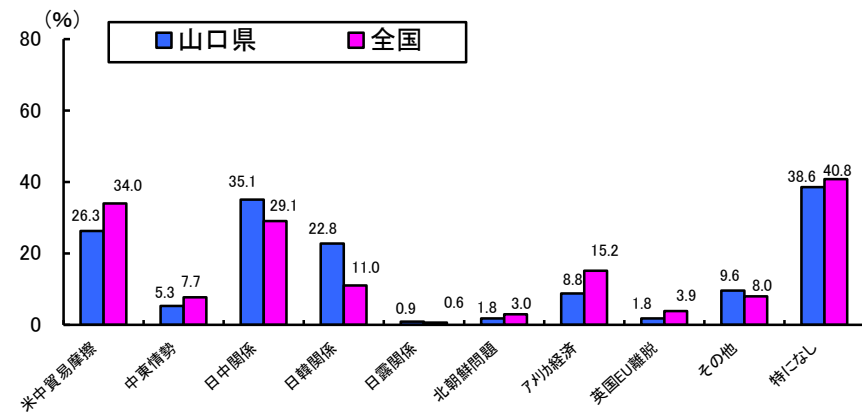
取組みを行っていない企業では、「国内だけで十分な売上がある」との回答が37.0%と最も多いが、2分の1強の企業が、「人材が不足している」、「資金面で余裕がない」などの理由で実施していないと回答している。



5. 注目している海外情勢（複数回答）

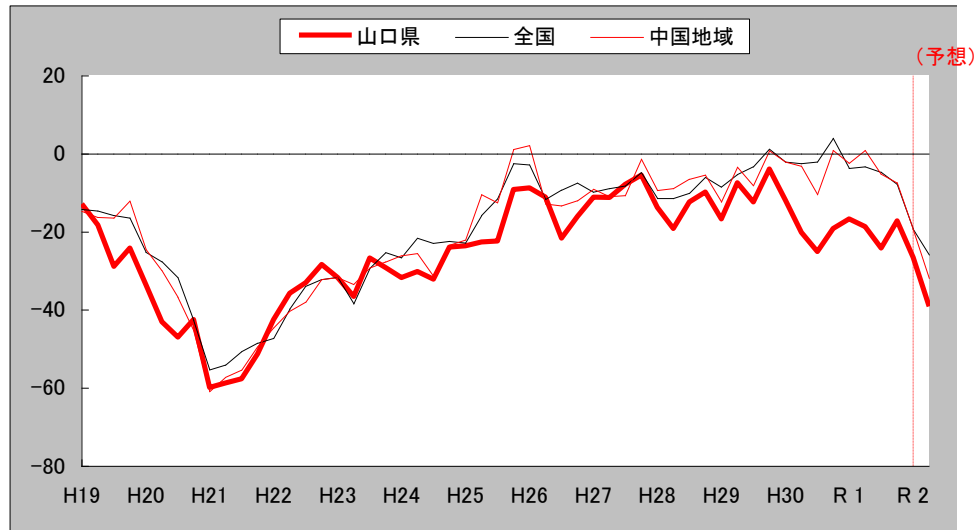
経営上注目している海外情勢については、「日中関係」が35.1%と最も多く、次いで「米中貿易摩擦」26.3%、「日韓関係」22.8%の順となっている。

（今回調査で業況悪化の主たる要因となった新型コロナウイルスの感染拡大の影響については「その他」9.6%に含む。）

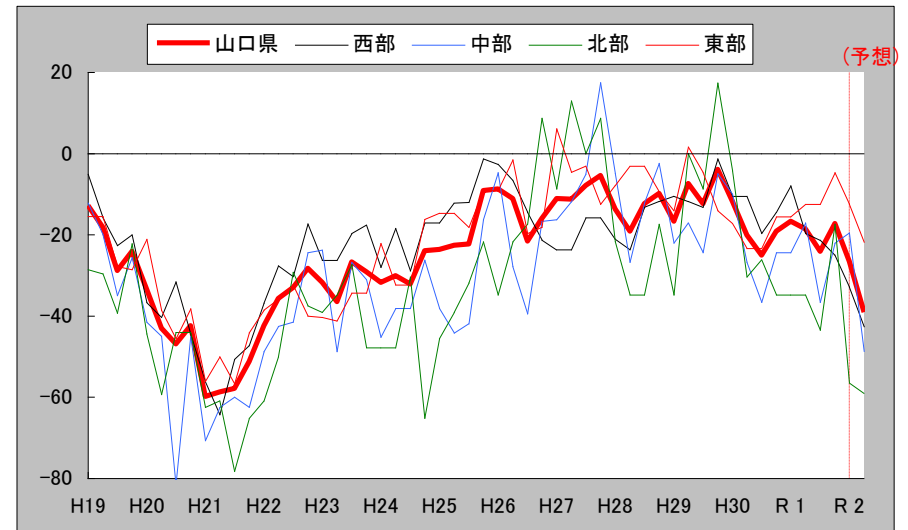


〈参考資料〉 業況判断D.I.の推移(H19以降)

全産業



地域別



山口県				
1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	

全国				
1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	

中国地域				
1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	

H19	-12.8	-18.2	-28.8	-24.1	-14.2	-14.6	-15.8	-16.4	-14.7	-16.3	-16.4	-12.1
H20	-33.5	-43.0	-46.9	-42.4	-25.2	-27.6	-31.7	-42.7	-24.5	-29.9	-36.8	-45.3
H21	-59.8	-58.7	-57.6	-51.2	-55.3	-54.1	-50.6	-48.5	-60.9	-57.2	-55.4	-49.4
H22	-42.4	-35.7	-33.0	-28.3	-47.3	-39.7	-33.9	-32.2	-44.6	-40.3	-3.8	-32.2
H23	-31.7	-36.5	-26.7	-29.1	-31.6	-38.4	-29.3	-25.3	-31.7	-33.4	-29.2	-27.7
H24	-31.7	-30.1	-32.1	-23.9	-26.6	-21.6	-22.9	-22.4	-26.1	-25.5	-31.3	-23.4
H25	-23.6	-22.6	-22.3	-9.1	-22.8	-15.8	-11.5	-2.5	-22.1	-10.4	-12.5	1.1
H26	-8.7	-11.1	-21.6	-16.0	-2.8	-11.7	-9.3	-7.5	2.1	-12.8	-13.3	-12.0
H27	-11.1	-11.2	-7.8	-5.4	-9.8	-8.9	-8.2	-4.8	-9.0	-10.9	-10.7	-1.3
H28	-13.7	-19.1	-12.3	-9.8	-11.4	-11.4	-10.1	-6.0	-9.4	-8.9	-6.5	-5.4
H29	-16.7	-7.4	-12.3	-3.9	-8.5	-5.3	-3.3	1.2	-12.3	-3.4	-8.1	0.8
H30	-11.8	-20.1	-25.0	-19.1	-2.1	-2.5	-2.1	4.0	-2.1	-3.1	-10.4	0.9
R 1	-16.7	-18.6	-24.1	-17.2	-3.7	-3.3	-4.7	-7.8	-2.4	0.9	-5.2	-7.4
R 2	-26.5	-39.1			-19.3	-25.9			-19.4	-31.9		

(予想)

(予想)

(予想)

業種別

